

## 2021年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月9日

上場会社名 ニッケ（日本毛織株式会社） 上場取引所 東  
 コード番号 3201 URL http://www.nikke.co.jp  
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）富田 一弥  
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員 （氏名）藤原 浩司 TEL 06-6205-6635  
 経営戦略センター財経室長  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 2021年8月18日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年11月期第2四半期の連結業績（2020年12月1日～2021年5月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第2四半期	50,532	△3.7	4,699	11.9	4,401	△8.2	1,044	△62.5
2020年11月期第2四半期	52,451	△10.9	4,200	△1.6	4,794	8.9	2,782	△5.1

（注）包括利益 2021年11月期第2四半期 2,511百万円（461.8%） 2020年11月期第2四半期 447百万円（△35.5%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第2四半期	14.56	—
2020年11月期第2四半期	38.27	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年11月期第2四半期	151,064	96,088	62.5	1,316.12
2020年11月期	147,172	95,714	63.8	1,310.05

（参考）自己資本 2021年11月期第2四半期 94,399百万円 2020年11月期 93,921百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	12.00	—	15.00	27.00
2021年11月期	—	12.00	—	—	—
2021年11月期（予想）	—	—	—	15.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年11月期の連結業績予想（2020年12月1日～2021年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	2.0	8,800	△2.8	8,400	△33.6	4,000	△43.8	55.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期2Q	86,478,858株	2020年11月期	86,478,858株
② 期末自己株式数	2021年11月期2Q	14,753,068株	2020年11月期	14,785,839株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期2Q	71,726,099株	2020年11月期2Q	72,693,479株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料記載の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、上記の予想と実績との間には、今後の様々な要因によって差異が生じる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

### (1) 経営成績に関する説明

ニッケグループは、中長期ビジョン「ニッケグループRN（リニューアル・ニッケ）130ビジョン（2017～2026）」（以下、「RN130ビジョン」）において、各事業が魅力的な事業を創造し、今後の更なる企業価値向上に向けて、持続的な成長と発展を目指すことを掲げております。

当連結会計年度は「RN130ビジョン」の具現化に向けて策定した「RN130第2次中期経営計画（2021～2023）」の初年度として、海外ビジネスの拡大や資本効率の改善等、中長期戦略の推進に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染拡大の影響を注視した事業運営に努めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高50,532百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益4,699百万円（前年同期比11.9%増）、経常利益4,401百万円（前年同期比8.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,044百万円（前年同期比62.5%減）となりました。産業機材事業の車載電装品他製造ラインのファクトリーオートメーション設備（以下、FA設備）の販売減少や人とみらい開発事業の通信関連分野における事業再編等の影響により減収となるも、生活流通事業でEC関連販売が好調だったことに加え、全社的な経費削減効果もあり営業利益は増益となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

#### ①衣料繊維事業

衣料繊維事業の当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高13,224百万円（前年同期比10.0%減）、営業利益は1,021百万円（前年同期比49.5%増）となりました。

##### （ユニフォーム分野）

学校制服用素材の販売は、価格改定前の早期引取が旺盛だった前年同期との比較では低調でした。官公庁制服用素材の販売は、警察用制服生地および製品の需要が回復し堅調でした。一般企業制服用素材の販売は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化しており、新規・更改物件の延期と中止が相次ぎ不調でした。

##### （テキスタイル分野）

一般衣料用素材は、国内販売および海外販売ともに、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う市況悪化が長期化しており、不調でした。

##### （ヤーン分野）

売糸は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う市況悪化が長期化しており、不調でした。

#### ②産業機材事業

産業機材事業の当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高9,170百万円（前年同期比12.2%減）、営業利益460百万円（前年同期比36.6%減）となりました。

##### （自動車関連分野）

自動車生産が堅調に推移する中、車両向けの不織布や縫製糸、結束紐などの受注が堅調でした。FA設備は、顧客の設備投資抑制の影響を受け、大幅に減少しました。

##### （環境関連分野）

集塵用フィルターなどの環境関連資材は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け低調でした。

##### （その他産業関連分野）

OA向けおよび家電向け資材は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け低調でしたが、工業用資材は新型コロナウイルス感染拡大の影響から回復し堅調でした。5Gやパソコンなどの需要増加に伴い半導体関連装置は堅調でしたが、画像検査装置は低調でした。

##### （生活関連分野）

ラケットスポーツ関連は、新商品の販売が売上に貢献しましたが、クラブ活動の自粛など新型コロナウイルス感染拡大の影響を補えず、前年同期並みでした。フィッシング関連は、新商品の販売が売上に貢献し、堅調でした。生活関連資材は、楽器用フェルトの受注が回復し、堅調でした。

#### ③人とみらい開発事業

人とみらい開発事業の当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高16,127百万円（前年同期比6.9%減）、営業利益3,016百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

##### （開発関連分野）

商業施設運営関連は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、飲食業を中心とした一部店舗で時間短縮営業の影響はあったものの、自社所有外の商業施設におけるプロパティマネジメント契約を受注したことで、堅調でした。ソーラー売電事業は、前年同期並みとなりました。建設関連は、2020年7月に総合建設会社を新たにグループに加えたものの、大型案件のあった前年同期との比較では低調でした。

（ライフサポート分野）

保育・学童保育関連は、新学年の入園者を獲得できたことで大幅な増収となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響はあったものの、介護関連は前年同期並み、スポーツ関連は堅調でした。

（通信及び新規サービス分野）

通信関連は、携帯事業を取り巻く環境に対応すべく事業再編を行っており大幅な減収となりました。新規サービス関連は、菓子類販売等で新規出店による効果はあるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部施設での営業中止や利用率低下で前年同期並みでした。

#### ④生活流通事業

生活流通事業の当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高10,209百万円（前年同期比21.2%増）、営業利益1,004百万円（前年同期比85.8%増）となりました。

（寝装品及び業務用品分野）

EC向け寝装品の販売は寒さの影響で堅調でした。災害用備蓄毛布や航空機内膝掛け毛布の販売は新型コロナウイルス感染拡大の影響で不調でしたが、感染防護衣の販売が好調でした。

（生活雑貨分野）

100円ショップ向け雑貨の販売は前年同期並みでした。在宅勤務向けの家具販売は好調でした。EC向け生活家電は巣ごもり消費の需要が高まり空気清浄機やキッチン家電の販売が好調でした。またタブレット・パソコン用フィルム販売も好調でした。

（ホビー・クラフト分野）

店舗販売が中心のスタンプ用インク、スタンプの販売は新型コロナウイルス感染拡大の影響で不調でした。一方、乗馬用品販売は新型コロナウイルス感染拡大の影響でEC販売が好調でした。

（その他）

保険代理店の経営成績は前年同期並みでしたが、コンテナ販売は新型コロナウイルス感染拡大の影響で新規設置が減少し不調でした。

#### （2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

生活流通事業のEC関連販売が好調であることを踏まえて、2021年1月14日に公表した連結業績予想を修正いたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,255	38,621
受取手形及び売掛金	22,549	19,862
商品及び製品	15,161	15,013
仕掛品	6,951	7,163
原材料及び貯蔵品	1,959	2,307
その他	1,779	1,763
貸倒引当金	△70	△73
流動資産合計	78,586	84,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,163	25,581
機械装置及び運搬具（純額）	4,888	4,687
土地	7,650	7,642
建設仮勘定	885	708
その他（純額）	771	728
有形固定資産合計	39,358	39,349
無形固定資産		
のれん	1,089	974
その他	718	685
無形固定資産合計	1,808	1,660
投資その他の資産		
投資有価証券	23,037	20,928
長期貸付金	10	11
破産更生債権等	108	98
長期前払費用	324	289
退職給付に係る資産	502	506
繰延税金資産	1,451	1,449
その他	2,112	2,231
貸倒引当金	△128	△119
投資その他の資産合計	27,419	25,395
固定資産合計	68,585	66,404
資産合計	147,172	151,064

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,735	9,773
短期借入金	17,119	20,372
1年内償還予定の社債	10	5
未払法人税等	1,127	1,361
引当金	739	1,714
その他	8,299	7,065
流動負債合計	37,030	40,293
固定負債		
長期借入金	3,642	4,265
繰延税金負債	728	591
退職給付に係る負債	2,609	2,652
長期預り敷金保証金	6,446	6,224
資産除去債務	433	434
その他	566	514
固定負債合計	14,426	14,682
負債合計	51,457	54,975
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,465	6,465
資本剰余金	4,460	4,460
利益剰余金	91,671	90,456
自己株式	△10,473	△10,445
株主資本合計	92,124	90,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,247	3,491
繰延ヘッジ損益	14	132
為替換算調整勘定	28	222
退職給付に係る調整累計額	△493	△385
その他の包括利益累計額合計	1,797	3,461
非支配株主持分	1,793	1,688
純資産合計	95,714	96,088
負債純資産合計	147,172	151,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
売上高	52,451	50,532
売上原価	37,501	35,518
売上総利益	14,950	15,014
販売費及び一般管理費	10,749	10,315
営業利益	4,200	4,699
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	273	253
為替差益	—	58
持分法による投資利益	353	—
その他	174	181
営業外収益合計	812	502
営業外費用		
支払利息	39	44
為替差損	23	—
持分法による投資損失	—	600
その他	155	155
営業外費用合計	218	800
経常利益	4,794	4,401
特別利益		
投資有価証券売却益	7	1
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	—	262
特別利益合計	7	263
特別損失		
投資有価証券評価損	211	—
関係会社株式売却損	—	1,581
事業構造改善費用	111	328
新型コロナウイルス感染症による損失	177	532
特別損失合計	500	2,441
税金等調整前四半期純利益	4,301	2,223
法人税、住民税及び事業税	1,941	1,768
法人税等調整額	△428	△620
法人税等合計	1,512	1,147
四半期純利益	2,789	1,076
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,782	1,044

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年12月1日 至 2020年5月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年12月1日 至 2021年5月31日）
四半期純利益	2,789	1,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,269	1,209
繰延ヘッジ損益	△15	119
為替換算調整勘定	△59	139
退職給付に係る調整額	46	53
持分法適用会社に対する持分相当額	△44	△85
その他の包括利益合計	△2,342	1,435
四半期包括利益	447	2,511
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	445	2,471
非支配株主に係る四半期包括利益	1	40

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年12月1日 至 2020年5月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年12月1日 至 2021年5月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,301	2,223
減価償却費	1,775	1,738
のれん償却額	249	232
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△23	△6
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△97	55
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	60	59
受取利息及び受取配当金	△283	△263
支払利息	39	44
持分法による投資損益（△は益）	△353	600
投資有価証券売却損益（△は益）	△7	△1
投資有価証券評価損益（△は益）	211	—
関係会社株式売却損益（△は益）	—	1,581
固定資産売却損益（△は益）	0	0
固定資産除却損	32	10
売上債権の増減額（△は増加）	6,543	2,721
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,929	△379
仕入債務の増減額（△は減少）	△4,397	23
その他	△814	△502
小計	5,308	8,139
利息及び配当金の受取額	285	263
利息の支払額	△40	△36
法人税等の支払額	△2,507	△1,469
法人税等の還付額	70	275
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,115	7,171
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	14	0
固定資産の取得による支出	△2,021	△1,909
固定資産の売却による収入	20	3
投資有価証券の取得による支出	△14	△402
投資有価証券の売却及び償還による収入	10	109
関係会社株式の取得による支出	△904	—
関係会社株式の売却による収入	—	848
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△682	—
貸付けによる支出	△102	△0
貸付金の回収による収入	55	2
その他	324	△84
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,300	△1,434

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年12月1日 至 2020年5月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年12月1日 至 2021年5月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	5,380	2,478
長期借入れによる収入	330	1,640
長期借入金の返済による支出	△289	△243
社債の償還による支出	△105	△5
リース債務の返済による支出	△19	△19
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,016	△1,074
長期預り敷金及び保証金の受入による収入	53	105
長期預り敷金及び保証金の返還による支出	△256	△330
その他	△39	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,037	2,482
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	62
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,838	8,281
現金及び現金同等物の期首残高	25,013	29,927
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	154	70
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,006	38,280

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

（1）連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、連結子会社である(株)ナカヒロ及びニッケプロテクティブマテリアルズ(株)は、2020年12月1日付で(株)ナカヒロを存続会社とする吸収合併を行っております。

当第2四半期連結会計期間より、重要性が増したため、(株)ニッケナーサリーを連結の範囲に含めております。

（2）持分法適用の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間において、株式を一部売却したため、芦森工業(株)を持分法適用の範囲から除外しております。

なお、当該持分法適用の範囲の変更は、当第2四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与えることが確実であると認められ、連結貸借対照表の総資産の減少並びに連結損益計算書の経常利益及び特別損失への影響が見込まれると考えられます。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2019年12月1日 至 2020年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注3)	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計			
売上高								
(1)外部顧客への売上高	14,694	10,443	17,314	8,422	50,874	1,577	—	52,451
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	129	299	348	199	976	3	△980	—
計	14,823	10,743	17,663	8,621	51,851	1,580	△980	52,451
セグメント利益	683	725	3,060	540	5,010	△42	△767	4,200

- (注) 1. セグメント利益の調整額△767百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△770百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間（自 2020年12月1日 至 2021年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注3)	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計			
売上高								
(1)外部顧客への売上高	13,224	9,170	16,127	10,209	48,731	1,801	—	50,532
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	408	281	311	176	1,178	2	△1,180	—
計	13,633	9,451	16,438	10,385	49,909	1,803	△1,180	50,532
セグメント利益	1,021	460	3,016	1,004	5,503	10	△815	4,699

- (注) 1. セグメント利益の調整額△815百万円には、セグメント間取引消去△31百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△783百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。